

【報告】『第4回 のみ SDGs 円卓会議』



11月28日(月)に「第4回のみ SDGs 円卓会議」を開催しました。

本会議では、能美市の「SDGs 未来都市計画」について、令和5年度～令和7年度を第2期計画期間とする策定案について意見をいただくとともに、昨年開催した「のみ指標分科会」「パートナーシップ制度分科会」「情報発信分科会」について、それぞれのプロジェクトの進捗を共有いたしました。

あいさつ

開会に先立ち、JAIST 産学官連携推進センター長の山本座長から、昨今の社会情勢の変化に触れた上で、「皆様の視点で能美市の変化を踏まえて、見解を頂戴したい。SDGs 未来都市計画には、能美市の明るい将来の展望を開いていくために、どのようにして市民の幸福を実現していくかを含む活発な意見交換ができれば」とご挨拶をいただきました。



第2期 SDGs 未来都市計画策定案についてのご報告と意見交換

続いて山本座長の進行で、現在策定を進めている第2期 SDGs 未来都市計画案について事務局から説明したのち、委員の皆さまから意見をいただきました。

下記に主な意見を紹介します。

- ・「2030年のあるべき姿」、「2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット」が経済・社会・環境ごとに整理され分かりやすい。一方で、それらが相互に関連し合い、つながっていくための取組についても言及したい。
- ・「2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット」の指標に、新たに「女性従業者数」が追加されたのは好ましい。ただ、従業員数だけでは十分でなく、女性経営者や管理職比率など、リーダー的ポジションに就いている人の数を指標に加えられるか。
- ・ゼロカーボンシティの実現について記載があるが、経済の主体である能美市役所内においてはどのような取り組むのか、具体的な目標値を入れてはどうか。

各専門分科会のプロジェクトの進捗状況報告

昨年、一年にわたって「情報発信」「パートナーシップ制度」「のみ指標」について議論し、今年度はその検討結果をもとに各プロジェクトが進行しています。本会議にて、それぞれの進捗を報告しました。

【情報発信分科会】

- ・のみ SDGs ホームページの開設
- ・のみ SDGs 相談窓口の設置

【パートナーシップ制度】

- ・のみ SDGs パートナーシップ制度がスタート
 - ・パートナーに 70、サポーターに 16 の登録。総計 86 の企業・団体・個人が登録
- ・パートナーズ勉強会&交流会を開催。10月に1度実施し、今年度中に残り2回を予定。

【のみ指標分科会】

- ・庁内で取得できる統計データを整理
- ・指標の評価方法を検討
- ・今年度、さらに指標の可視化案を検討予定

委員の皆さまからは下記のような意見がありました。

- ・ホームページには今後も取組紹介やインタビューが拡充されることを期待する。
- ・パートナーズの登録が増え、活動が続いていくために講師としての登壇の機会や情報発信などのインセンティブが設計できれば良い。また、登録して終わりではなく、会員同士の交流やつながりが生まれるような交流会を企画してもらいたい。
- ・既存のデータで測れない指標について、WEB アンケートも含め新たな調査が必要ではないか。若い世代も含め、回答率が上がるような仕掛けを考えたい。



今回は、来年度からの3カ年を計画期間とする未来都市計画の改定案と、今年度の各専門分科会のプロジェクト進捗についてご報告させていただきました。

円卓会議の開催は今年の2月ぶり。少し間が空いての実施となりましたが、委員の皆さまからそれぞれの立場や経験を活かした市民目線の意見をいただくことができました。今回いただいた意見を反映させることで、未来都市計画も分科会ごとのプロジェクトも、より地に足のついたものとなるように感じています。

今後も円卓会議や専門分科会の皆さまとともに、市民を主役とした能美市におけるSDGsの推進と、自律的好循環の形成を目指してまいります。